

第3回庁舎整備基本計画策定庁内検討委員会での意見

基本理念(案)	庁内検討委員会での意見
<p>人・歴史・自然がつながる 富田林のゲートウェイ</p>	<p>○基本理念案1、2に「ゲートウェイ」や「シティホール」といった横文字があるが、分かりにくいと感じる人もいるのではないかと。特にお年寄りには「ゲートウェイ」が一般的なものかは疑問である。やっぱりお年寄りにも、わかりやすいほうがいいのではないかと。</p>
<p>人・歴史・自然がつながる 富田林シティホール</p>	<p>○基本理念案1、2に「ゲートウェイ」や「シティホール」といった横文字があるが、分かりにくいと感じる人もいるのではないかと。 ○富田林市シティホールは葬儀屋みたいなイメージがあるのが気になる。(実際に市内に「シティホール富田林」という葬儀場があります。)</p>
<p>人・自然・歴史を次世代につなぐ 富田林の創生拠点</p>	<p>○人と歴史、自然を次世代につなぐという言葉が良いフレーズと思う。富田林の市役所がその拠点になるというところもいい。 ○「創生」は「はじめてつくる」という意味で、古くから存在する自然や歴史とは相容れない言葉ではないかと思う。</p>
<p>富田林の歴史・自然をあしたへ紡ぐ みんなの居場所となる庁舎</p>	<p>○「紡ぐ」という言葉の表現が(難しいので)やさしくなると、良いのではと思う。 ○「創生」は「はじめて生み出す」「はじめてつくる」という意味で、古くから存在する自然や歴史をはじめてつくるようなイメージなので、歴史とは相容れない言葉ではないかと思う。 ○「居場所」について、設計でそのようなスペースを設けるのであれば良いと思うが、実際にそういう居場所もないのに、居場所と具体的な言い方をしてしまうのは違和感がある ○市民にくつろいでいただけるスペースを大胆に設ける計画にはなっていないと思う。本当にそれをするならば、例えばこの庁舎と公民館とかでも合築とかをしなけ</p>

	<p>れば、市民の方が市役所の用事だけじゃなくて、訪れて滞在するところまで出来ないのではと思う。ただそうなると面積、金額との関係でどうなるのか悩ましい。</p> <p>○交流スペース等が小規模で他自治体でも（どこにでも）設けられているのであれば、富田林らしい基本理念の中で「居場所」を押し出すのは、少し違和感がある。</p> <p>○みんなが集える庁舎など、そういう言葉だとしっくりくるが、居場所という言葉になると、いわゆる複合的な施設が浮かんでくる。</p> <p>○居場所というのは公民館や図書館で、すべての方の居場所として利用されているので、市役所本庁において、そこまで求める必要があるものなのか。</p>
<p>歴史と自然に恵まれた富田林 ～人とまちが元気になる明日の創生拠点～</p>	<p>○「創生」は「はじめてつくる」という意味で、古くから存在する自然や歴史とは相容れない言葉ではないかと思う。</p> <p>○庁舎がこれから未来に向かって何かをつくり出していく、歴史も学んで自然とともにこれから新しくつくっていくということであれば、この理念に近いものがあると思う。</p> <p>○庁舎の基本が何か、単純に言えば業務をする事務所なので、創生より政策を作ることや、創造する拠点となることと思う。創生よりも、創造の方が政策をつくることや、まちをつくることなどの意味合いが出るのではと思う。政策をつくることや、まちづくりを進めることであり、富田林を創造する拠点ではと思う。</p> <p>○フレーズが長いと思う。</p>

<p>全体としての意見</p>	<p>○本来庁舎というのは「まちづくり」や「居場所」など、そういうものではないように思う。例えば、災害に強い庁舎整備や、利用しやすい庁舎、それが何よりではと思う。近年建てられてる庁舎は、市民が集えることなどが流行りであるが、本来庁舎というのは、まちづくりのソフト面や、市民への発信基地であると思う。</p> <p>集えるというのは、本当は庁舎から発信される政策などがまちをつくって、市民がそのまちそのものに居心地のいい場所として感じる、こういう拠点になるものではと思う。そこからすると、この5つの案は、どれもそぐわないと思う。</p> <p>○4番だけがみんなの居場所という機能的な言葉が入っている。他はイメージと思うが、イメージとして決めるのかどうか、機能の件に関しては、これから後に出てくる庁舎の目的が絡んでくると思うので、そこも含めて（基本理念を）検討しなければならないと思う。</p>
-----------------	--